

令和3年度（令和2年度決算）

みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

令和3年度（令和2年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 学校施設改修事業	1
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	2
○ 外国語指導助手配置業務事業	3
○ 夢の教室事業	4
○ 町教育委員会研究指定校委嘱事業	5
○ 教育委員会活動事業	6
○ 特別支援教育支援員配置事業	7
○ スクールカウンセラー事業	8
○ スクールソーシャルワーカー事業	9
○ 学力向上支援体制確立対策事業	10
○ ICT支援体制確立対策事業	11
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	12
○ 育英資金貸付基金事業	13
○ 学校給食費補助事業	14
○ 学校給食センター事業	15

【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 青少年健全育成事業	16
○ まちづくりいきいき女性クラブ事業	17
○ 放課後子ども教室事業	18
○ 生涯学習事業	19
○ 図書館事業	20
○ 文化財保護事業	21
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	22
○ 町体育協会補助事業	23
○ 町民体育大会実行委員会補助事業	24
○ 各種スポーツ大会等開催事業	25
○ 社会体育施設整備事業	26

【全体】

○ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	27～28
-----------------------------	-------

事業名	学校施設改修事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当		
				費目	小学校費・中学校費				
事業費 (千円)	125,282	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
					112,500		12,782		
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進							
	主要施策	学校施設・設備の充実							
事業の内容等	学校施設の老朽化等に対し改修を行う。								
事業の実績等	<table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>【中原小学校】</p> <p>①教室・職員室エアコン取替工事 463,100円</p> <p>【北茂安小学校】</p> <p>②特別支援教室エアコン設置工事 2,031,700円</p> <p>③空調機器取替工事 550,000円</p> <p>④体育館塗装工事 437,800円</p> <p>⑤相談室エアコン移設工事 107,250円</p> <p>⑥カーテン取替工事 99,330円</p> <p>【三根東小学校】</p> <p>⑦配膳室エアコン新設工事 263,780円</p> <p>⑧東渡り廊下両サイド雨避け工事 264,902円</p> <p>【三根西小学校】</p> <p>⑨屋外掲示板設置工事 374,000円</p> <p>小学校計 4,591,862円</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>【中原中学校】</p> <p>⑩調理室窓側流し台改修工事 2,475,000円</p> <p>⑪体育館ステージ幕及び体育館南側暗幕取替工事 943,800円</p> <p>⑫部室上裏爆裂補修工事 1,089,000円</p> <p>⑬校舎北棟防水工事 34,210,000円</p> <p>【北茂安中学校】</p> <p>⑭給食室改修工事 81,950,000円</p> <p>⑮給食室機械警備センサー改修工事 22,000円</p> <p>中学校計 121,069,800円</p> </td> </tr> </table>							<p>【中原小学校】</p> <p>①教室・職員室エアコン取替工事 463,100円</p> <p>【北茂安小学校】</p> <p>②特別支援教室エアコン設置工事 2,031,700円</p> <p>③空調機器取替工事 550,000円</p> <p>④体育館塗装工事 437,800円</p> <p>⑤相談室エアコン移設工事 107,250円</p> <p>⑥カーテン取替工事 99,330円</p> <p>【三根東小学校】</p> <p>⑦配膳室エアコン新設工事 263,780円</p> <p>⑧東渡り廊下両サイド雨避け工事 264,902円</p> <p>【三根西小学校】</p> <p>⑨屋外掲示板設置工事 374,000円</p> <p>小学校計 4,591,862円</p>	<p>【中原中学校】</p> <p>⑩調理室窓側流し台改修工事 2,475,000円</p> <p>⑪体育館ステージ幕及び体育館南側暗幕取替工事 943,800円</p> <p>⑫部室上裏爆裂補修工事 1,089,000円</p> <p>⑬校舎北棟防水工事 34,210,000円</p> <p>【北茂安中学校】</p> <p>⑭給食室改修工事 81,950,000円</p> <p>⑮給食室機械警備センサー改修工事 22,000円</p> <p>中学校計 121,069,800円</p>
<p>【中原小学校】</p> <p>①教室・職員室エアコン取替工事 463,100円</p> <p>【北茂安小学校】</p> <p>②特別支援教室エアコン設置工事 2,031,700円</p> <p>③空調機器取替工事 550,000円</p> <p>④体育館塗装工事 437,800円</p> <p>⑤相談室エアコン移設工事 107,250円</p> <p>⑥カーテン取替工事 99,330円</p> <p>【三根東小学校】</p> <p>⑦配膳室エアコン新設工事 263,780円</p> <p>⑧東渡り廊下両サイド雨避け工事 264,902円</p> <p>【三根西小学校】</p> <p>⑨屋外掲示板設置工事 374,000円</p> <p>小学校計 4,591,862円</p>	<p>【中原中学校】</p> <p>⑩調理室窓側流し台改修工事 2,475,000円</p> <p>⑪体育館ステージ幕及び体育館南側暗幕取替工事 943,800円</p> <p>⑫部室上裏爆裂補修工事 1,089,000円</p> <p>⑬校舎北棟防水工事 34,210,000円</p> <p>【北茂安中学校】</p> <p>⑭給食室改修工事 81,950,000円</p> <p>⑮給食室機械警備センサー改修工事 22,000円</p> <p>中学校計 121,069,800円</p>								
事業の成果等	自己評価	各小・中学校施設については、児童生徒の安全と教育環境の充実を図ることを目的に、施設の状況に応じて改修工事や設備の更新を行っている。大規模改修等については予算も含め計画的に実施し、その他学校からの要望に応じて随時対応している。							
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項							
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等								

事業名	原子力・エネルギー教育支援事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目		小学校費・中学校費	
事業費 (千円)	94	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				94			
基本方針	重点目標	実験を通して、放射線に対して興味・関心を高めるとともに、正確な知識を身に付けさせる。また、放射線の性質を比較し、特性を観察することで、原子力への正しい知識を身につける。					
	主要施策	原子力・放射線の学習に関する教材の整備を行う。					
事業の内容等	放射線を観察して放射線への理解を深めるために、放射線の性質比較実験セットを整備する。						
事業の実績等	事業実施校：北茂安中学校（対象：3年生） 事業実施年数：単年申請の12年目 ・北茂安中学校：放射線の性質実験セット（94,000円）						
事業の成果等	自己評価	授業後のアンケートには「放射線や放射能など普段使っている言葉の意味が理解でき、身近なものと考えることができた」と答えた生徒も多くみられた。また、「放射線を出す物質は、原子力発電に用いる放射性物質以外にも、多くの放射性物質があることを知った」と答えた生徒もいた。今後も教材を利用し、原子力エネルギー以外のエネルギーについても考えながら、社会を支えるインフラの一つの電気の効率的な使い方を考え、多様なエネルギーを組み合わせた利用を考える必要があることが理解できた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	外国語指導助手配置業務事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	28,528	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							28,528
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内小中学校に外国人指導助手（ALT）を配置して、中学校における外国語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語授業での指導を行い、子ども達の外国語によるコミュニケーション能力の育成を行うとともに、国際理解を図る。						
事業の実績等	<p>令和2年度から小学校で外国語が必修化され、3・4年生は「外国語活動」年間35時間、5・6年生は教科としての「外国語」を70時間実施した。そのため、ALTを6人配置した。</p> <p>中原小 : ネパール籍女性 北茂安小 : フィリピン籍女性 三根東・西小 : アメリカ籍男性 中原中 : アメリカ籍男性→アメリカ籍男性 北茂安中 : フィリピン籍女性→イギリス籍男性 三根中 : オーストラリア籍女性</p>						
事業の成果等	自己評価	ALTを配置していることで、教員の負担軽減につながっている。中学校のALTが令和元年度のALTから変更になっており、そのうち2人が同年度中に変更になった。学校の要望に沿った変更もあるが、ALTの都合による交代もあるため、可能な限り年度中に交代が発生しないように強く要望していく。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	夢の教室事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,320	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,320
基本方針	重点目標	夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む					
	主要施策	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実					
事業の内容等	令和元年度から元女子サッカー日本代表のゴールキーパーで、国民栄誉賞を受賞された海堀あゆみさんをスポーツ政策ディレクターとして迎えており、海堀さんに夢先生として、みやき町立小学校で夢の教室を実施し、仲間と協力することの大切さや夢をもつことの素晴らしさを伝える。						
事業の実績等	<p>【実施校及び対象学年】 中原小学校・北茂安小学校・三根東小学校・三根西小学校 6年生（7クラス）</p> <p>【派遣講師】 夢先生：海堀あゆみ（サッカー）</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半35分「ゲームの時間」 体育館で、子どもたちとアシスタントでPK対決を行い、最後には、海堀さんがゴールキーパーになり、PK対決を実施し、チーム全員で取組み、仲間と協力することの心強さや大切さを伝えた。 ・後半55分「トークの時間」 教室で、夢先生が「夢曲線」という自身の実体験を黒板に描きながら、困難を乗り越えて夢に挑戦した体験を話し、やり続けることの意義や新しいことにチャレンジをする勇気を持つことの大切さなどを子どもたちに伝えた。 						
事業の成果等	自己評価	「夢の教室」を通して、夢に向かう過程や挫折したときの経験など、アスリートの実体験を直接聞くことで、夢や目標について考えさせ、自分の夢や目標を認識させる場面として、非常に良い機会になっている。児童や教職員からの評価も高く、次年度実施の希望も多かった。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	みやき町教育委員会研究指定校委 嘱事業（2ヶ年事業の2年目）		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
			費目	事務局費		
事業費 (千円)	296	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 296
基本 方針	重点目標	小中一貫教育を通して、自ら考え、生き生きと活動する児童生徒を育成する				
	主要施策	主体的に生きてく児童生徒を育む教育の推進				
事業の 内容等	町教育委員会が中原校区2校（中原小学校、中原中学校）を研究指定校として委嘱し、小中の一貫した学校教育を通して、主体的に生きていく児童生徒の育成を図った。					
事業の 実績等	<p>○決算額 296,406円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中原小学校：消耗品費 149,829円（研究冊子用ファイル、拡大機用インク、色画用紙、ラミネートシート、コピー用紙） ・中原中学校：消耗品費 92,577円（発表ボード12セット、ボード収納かご6個）印刷製本費 54,000円（研究紀要60冊） <p>○研究課題 「小中連携による自ら学びに向かう児童生徒の育成」～対話的な活動を取り入れた授業づくりを通して（中原小）～ ～グループ活動を軸にした問題解決的な学習活動を通して（中原中）～</p> <p>○全国学力・学習状況調査で「知識・理解」「考え方」の観点に課題がみられ、活用に関する問題の正答率が低く、無回答率が高いという結果を踏まえ、基礎的・基本的な知識の定着を図り、児童生徒が互いの考えを出し合いながら問題解決する学習を重ね、学習意欲を喚起し自ら学びに向かう児童生徒の育成を目指した。</p>					
事業の 成果等	自己評価	教職員は、小中連携により研究推進委員会で協議し、公開研究授業を実施した。10月9日には小学6年生を対象に中学の英語科や数学科の体験授業を実施し、11月26日には、中学1年生を対象にマナー検定を実施した。				
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	2年間の成果として、学習状況調査の結果では、小学6年と中学1年の同一学年で経年比較した場合、平均正答率に対する割合がどの教科においても大幅に伸長した。学びあい活動により深い学びにつながったり、主体的に学習する意識を高めたりできたことは成果であると考える。				
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項				
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。				
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等					

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	委員会費		
事業費 (千円)	984	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							984
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校入学式（4／10）・中学校入学式（4／9）・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、教科書等の受け渡しと担任確認へ変更 ○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員分散しての参加 ○ 運動会・体育大会への参加・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参加自粛 ○ 文化発表会・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参加自粛 ○ 青少年主張会・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ○ 小学校卒業式（3／19）・中学校卒業式（3／6）・・・教育委員分散しての参加 <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会定例会（年12回）・教育委員会臨時会（9回：4月に7回、5月に1回、9月に1回） ○ 三神地区教育委員会連絡協議会・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 						
事業の成果等	自己評価	教育委員会定例会を月1回開催しているが、特に年度初めの4月には、新型コロナウイルス対策について、日々変わる状況に対応するため複数回の教育委員会臨時会を開き、学校の臨時休業や開校時期の決定、修学旅行キャンセル料補助金制度の創設など、子どもの安全を第一にした対策について様々な協議を行った。教育委員が学校行事や社会教育事業の式典等に参加することにより、本町の教育現場の現状を把握し、教育の振興に向けた協議・指導・助言をすることができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当							
				費目		事務局費								
事業費 (千円)	17,949		財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源						
								17,949						
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進												
	主要施策	特別支援教育の一層の充実												
事業の内容等	特別支援学級に在籍している児童生徒及びそれに準ずる児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行う。													
事業の実績等	○特別支援学級入級者の状況（R2.5.1現在） (単位：人)													
	学校名	知的	情緒	肢体 不自由	難聴	病弱	通級	学校名	知的	情緒	肢体 不自由	難聴	病弱	通級
	中原小	8	23	0	0	0	3	中原中	3	12	0	1	0	0
	北茂安小	13	28	1	0	0	19	北茂安中	2	9	0	0	0	0
	三根東小	2	5	0	0	0	0	三根中	2	2	0	0	0	0
	三根西小	2	7	0	0	0	0	中学校計	7	23	0	1	0	0
	小学校計	25	63	1	0	0	22	合計	32	86	1	1	0	22
○学校生活支援員（特別支援教育支援員）の配置状況														
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度から、中原中の1人分を中原小に変更し、配置した。 ・中原小6人、北茂安小6人、三根東小1人、三根西小3人の計16人を配置した。 														
事業の成果等	自己評価													
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>特別支援学級への入級者は年々増加しており、前年度から入級者は15人増加した。各校への配置は学級数などを考慮し、小学校が中学校よりも入級者数が増加していることから小学校に1人増で配置した。</p> <p>人員の確保が課題であり、年間を通じて欠員がないように努めていく。</p>												
評価委員	評価結果	意見・指摘事項												
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後、人材確保のために努力していただきたい。												
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等													
	人材確保に努力します。													

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	2,151	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				716			1,435
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進					
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県費となる。						
事業の実績等	<p>【相談内容】</p> <p>小学校においては、児童では友人関係、教職員では発達障害等や心身の健康等、保護者では不登校傾向児童に係る相談が多かった。中学校においても、不登校傾向生徒に係る相談が多く、生徒自身は、友人関係や進路に関する相談が多い。</p> <p>【相談件数】</p> <p>小学校 626件（児童244件 教職員267件 保護者114件 他1件）－町費－ 中学校 311件（生徒127件 教職員155件 保護者29件 他0件）－県費－</p> <p>【その他取組み】</p> <p>各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	学校における教育相談においては、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育などの問題の解決をサポートし、きめ細かな対応が出来るように努めている。また、カウンセリング以外にも、児童生徒に対してコロナ禍でのストレスとの付き合い方などの授業も実施し、問題の未然防止を図っている。 小中ともに相談件数は増加傾向にあり、学校から配置時間増加の要望もあるため、配置時間数を増加するよう県に要望していきたい。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後とも、スクールカウンセラーの配置時間が十分に確保できるよう努めていただきたい。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	スクールカウンセラーの配置時間が十分に確保できるよう努めます。						

事業名	スクールソーシャルワーカー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目	事務局費						
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
							0				
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進									
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進									
事業の内容等	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う。										
事業の実績等	○スクールソーシャルワーカー（SSW）事業は県の事業であり、今年度は下記のとおり配置となった。 ・派遣人数 1人 配当時間 500時間（500時間を超えた分が町の負担となる）										
	SSW 実績 500時間										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
42h	46.5h	56.5h	40.5h	31h	54h	31.5h	52.5h	36.5h	32h	38h	39h
事業の成果等	自己評価	不登校やいじめの他にも家庭内暴力やネグレクト等問題のある家庭で生活する児童生徒がおり、その問題も複雑化している。関係機関と連携して、福祉的な方法で対処していかなければならない事案が多くなっており、社会福祉等の専門的な知識や経験をもっているSSWの配置が不可欠である。また、現在の配置時間で不足は生じてはいないが、同時多発的な事案にも迅速に対応できるように、SSWの複数名の配置を県に要望していきたい。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	意見・指摘事項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後とも、スクールソーシャルワーカーの配置時間が十分に確保できるよう努めていただきたい。									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等										
	スクールソーシャルワーカーの配置時間が十分に確保できるよう県に強く要望します。										

事業名	学力向上支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	11,286	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							11,286
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別指導を行う。						
事業の実績等	<p>○配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接雇用（各中学校に教諭補助を6人、事務局内に不登校対策支援員を1人、計7人の配置） ・中原中2人（理科・音楽）、北茂安中2人（理科・英語）、三根中2人（数学社会・体育） <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教科などでTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。 ・支援を要する生徒に対し、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行った。 ・不登校児童生徒対策として、教育委員会に「フリースクール」を設置し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。 						
事業の成果等	自己評価	<p>教諭補助を各校2人配置し、学習支援を行うことで、個別の学習課題に応じた支援・対応ができています。また、教員の業務のサポートを行うことで、教員の負担軽減につながっています。</p> <p>フリースクールは、不登校の児童生徒の居場所になっており、フリースクールに来る児童生徒数は増加傾向にあるが、学校に行くことができるようになっている児童生徒もおり、効果は表れている。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	I C T支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	8,290	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							8,290
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	授業における ICT 活用を円滑に進める環境づくりとして、教員の ICT 活用を支援する。 ICT 支援員を配置することによりサポート体制の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接雇用（3校区に各1人の配置・全校区対応職員として1人配置） <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。 ・タブレット端末の管理、児童生徒アカウントの管理を行った。 ・授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなどの指導を行った。 						
事業の成果等	自己評価	GIGA スクール構想により、児童生徒がタブレット端末を使用できる環境が整いつつあり、教員の ICT 活用のスキルはもとより、ICT 機器を活用した指導力の向上が急務になっている。そのような中で、ICT 分野で教員の支援を行うことができる ICT 支援員の役割は重要度を増しており、学校運営に不可欠な存在になっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																													
			費目	小中学校費																															
事業費 (千円)	11,124	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																												
			3				11,121																												
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備																																	
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進																																	
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。																																		
事業の実績等	<p>【要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 2人 中学校 5人 計 7人 ・修学旅行費（実費）のみの支給 支給総額 小学校 0円 中学校 6,329円 <p>【準要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 74人 中学校 70人 計 144人 ・認定者数は、ここ数年は減少傾向である。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>H30年度</th> <th>H29年度</th> <th>H28年度</th> <th>H27年度</th> <th>H26年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139人</td> <td>157人</td> <td>165人</td> <td>157人</td> <td>161人</td> <td>155人</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <th>H24年度</th> <th>H23年度</th> <th>H22年度</th> <th>H21年度</th> <th>H20年度</th> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>159人</td> <td>161人</td> <td>150人</td> <td>140人</td> <td>118人</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。 ・支給総額 小学校 4,274,833円 中学校 5,440,583円 ・次年度就学予定者の新入学児童生徒学用品費については、入学前支給を実施し入学時期の経済的負担軽減を図った。 <p>新入学対象者25人（小学校 11人 561,660円 中学校 14人 840,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。新1年生については、就学時健康診断時に、チラシを配付している。随時申請も受け付けている（扶助費は月割） 							R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	139人	157人	165人	157人	161人	155人	159人	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度			159人	161人	150人	140人	118人		
	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度																												
	139人	157人	165人	157人	161人	155人	159人																												
	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度																														
	159人	161人	150人	140人	118人																														
事業の成果等	自己評価	<p>準要保護児童生徒の認定者数については、ここ数年は減少傾向にあるが、令和2年度は、昨年度と比べて5人増加している。</p> <p>今後も制度の周知を図り、就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上及び、校納金等の未納を減少できればと思っているところである。</p>																																	
	<p>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>																																		
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																																	
	<p>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>	特になし。																																	
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																		

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目		事務局費					
事業費 (千円)	5,160	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
						5,160					
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校または大学等に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生等 月額40,000円以内 / 高校生等 月額20,000円以内 の貸付 ○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子 ○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円, 人) 										
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成27年度	0	1,087	0	5	2	4	2	8	3,000	1,627
	平成28年度	2,000	1,861	2	5	0	2	2	7	3,000	2,488
	平成29年度	3,000	1,551	2	6	3	8	4	11	5,160	1,879
	平成30年度	5,000	1,433	2	8	1	1	3	9	4,160	4,153
	令和元年度	3,000	2,066	3	8	0	4	3	12	6,040	3,179
令和2年度	3,000	1,545	3	6	2	4	3	10	5,160	2,564	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5人）にて、採用者の決定を行っている。令和2年度は5月26日に開催し、高校生2人、大学生4人の採用をした。 ○ 返済については、平成24年度より3人、25年度より1人、26年度より3人、27年度より3人、28年度より3人、30年度より3人、元年度より2人、2年度より6人の償還が始まった。6年以内（27年度貸付者からは8年以内）で月賦又は年賦で返済する。14人は返済完了している。 											
事業の成果等	自己評価	令和2年度申請については、高校生2人、大学生4人の申請であった。選考においては育英資金運用委員会において、勉学意欲、学資の支弁が困難であるか、世帯の状況、その他総合的判断に基づき決定した。申請者においては、日本学生支援機構奨学金や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。募集については、町広報やホームページにおいて周知している。基金額状況としては返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賅っている状況である。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	意見・指摘事項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等										

事業名	学校給食費補助事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		事務局費		
事業費 (千円)	80,137		財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							36,650	43,487
基本方針	重点目標	子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、定住促進に寄与する。						
	主要施策	小中学校に在学する児童生徒のうち、第1子・第2子を半額補助、第3子以降を全額補助する。						
事業の内容等	<p>同一世帯で18歳に達する日以降の最初の4月までの間にある子供の数でカウントし、小中学校に在学する児童生徒の給食費を1人目と2人目は半額を、3人目以降は全額を補助している。平成30年度から当面の間、ふるさと寄付金活用事業として1人目と2人目についても、半額の追加補助を実施することにより完全無償化を実施している。子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図り、もって定住促進に寄与することを目的とした事業。</p>							
事業の実績等	【学校別対象者数及び金額】							
	【一般会計】				【ふるさと寄付金】			
	中原小学校	361人	8,852,778円	中原小学校	336人	7,310,328円		
	北茂安小学校	481人	11,640,691円	北茂安小学校	434人	9,359,421円		
	三根東小学校	148人	3,722,907円	三根東小学校	128人	2,754,008円		
	三根西小学校	179人	4,474,050円	三根西小学校	156人	3,394,650円		
	中原中学校	153人	4,257,769円	中原中学校	154人	4,122,019円		
	北茂安中学校	216人	5,880,488円	北茂安中学校	214人	5,608,988円		
	三根中学校	139人	3,869,875円	三根中学校	134人	3,518,689円		
	町立外小学校	25人	403,146円	町立外小学校	21人	270,954円		
	町立外中学校	42人	296,757円	町立外中学校	39人	223,117円		
	特例対応	4人	88,050円	特例対応	4人	88,050円		
	合計	1,748人	43,486,511円	合計	1,620人	36,650,224円		
事業の成果等	自己評価	通常補助対象児童生徒 1,748人、ふるさと寄付金補助対象児童生徒 1,620人に学校給食費を補助することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、定住促進、子育て支援につなげた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	学校給食センター事業		所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																			
			費目	給食センター費																					
事業費 (千円)	56,875	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																		
							56,875																		
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																							
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																							
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間190回の給食を提供し、単独校3校に炊飯を提供した。																								
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。(小学生 4人 中学生 3人) ○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(8月17日) ○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。 ○ 下記のとおり給食を提供した。また、中原小学校、北茂安小学校、北茂安中学校に炊飯を提供した。 ○ 施設・設備の老朽化に伴い、洗浄室ダクト取替工事(769千円)、排水処理調整槽ブロワ取替工事(492千円)を行った。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少した食材(県産水産物・県産和牛肉)の需要喚起のための補助事業を受け、給食に取り入れた。 																								
	【学校給食センター】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原中学校</td> <td>215食</td> </tr> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>166食</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>201食</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>187食</td> </tr> <tr> <td>給食センター</td> <td>15食</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>784食</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原中学校	215食	三根東小学校	166食	三根西小学校	201食	三根中学校	187食	給食センター	15食	計	784食	【自校式】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小学校</td> <td>450食</td> </tr> <tr> <td>北茂安小学校</td> <td>576食</td> </tr> <tr> <td>北茂安中学校</td> <td>278食</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,304食</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原小学校	450食	北茂安小学校	576食	北茂安中学校	278食	計
学校名	提供数																								
中原中学校	215食																								
三根東小学校	166食																								
三根西小学校	201食																								
三根中学校	187食																								
給食センター	15食																								
計	784食																								
学校名	提供数																								
中原小学校	450食																								
北茂安小学校	576食																								
北茂安中学校	278食																								
計	1,304食																								
事業の成果等	自己評価	衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できた。 異物の混入が数回あり、その都度原因を特定し、改善を行った。 老朽化に伴う施設設備の整備を行い、円滑な業務が出来るように改善している。																							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																							
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	異物混入事案等が発生しないよう、緊張感をもって、引き続き取り組んでいただきたい。																							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																								
	納入業者には指導し、職員や委託業者には研修を通して異物混入等が発生しないよう取り組んでいきます。																								

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
				費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	4,701	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						1,400	3,301	
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成						
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実						
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。							
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成指導員を各地区1人の計57人に委嘱し、校区ごとに月1回程度指導員会議を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により資料の送付のみとする回もあったが、会議では地域ごとの青少年育成活動状況や課題等の意見・情報交換を行い、青少年の健やかな成長を支援するための共通認識を図ることができた。例年、青少年健全育成指導員が主体となって任意で開催している地区懇談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全地区において中止となった。 ・青少年育成町民会議と連携し、青少年を対象に地区で取り組む体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施した。（24地区助成） ・例年、11月に実施している小中学校交流主張会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から発表会を中止したが、小中学生が日頃感じていることや将来の夢等を文集として発行し、各世帯に配布することで住民に対する広報、啓発を図った。 ・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。また、地区での青少年サポート隊の活動に対して補助金を交付した。（34地区助成） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年サポート隊総会については書面開催とした。また、地区隊長を対象に例年実施している先進地視察についても中止とした。 							
事業の成果等	自己評価	コロナ禍で行事の実施が困難な中ではあったが、地域における子ども達の体験活動やふれあい活動を推進することにより世代間の交流を深め、地域の子どもは地域で育てる意識の高揚を図ることができた。						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	新型コロナウイルス感染症の影響のため、例年実施している青少年サポート隊地区隊長先進地視察等の研修が実施できなかったが、サポート隊の活動補助金を交付することで活動の幅が広がるとともに、継続的な活動により登下校時の交通事故や子どもたちが巻き込まれる犯罪事案の未然防止につなげることができた。						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	まちづくりいきいき女性クラブ 事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	3,220	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						489	2,731
基本 方針	重点目標	地域住民の交流及び親睦と連携の強化					
	主要施策	女性活動・町民協働支援の推進					
事業の 内容等	<p>地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。</p>						
事業の 実績等	<p>○令和2年度地区推進員登録状況 43地区 47人登録（400世帯を超える行政区は、1人増員可） ・中原校区 11地区 14人 ・北茂安校区 16地区 17人 ・三根校区 16地区 16人</p> <p>○活動内容 ・交流事業 茶話会 ウォーキング グランドゴルフ クリスマス会 等 ・各種教室 書初め ゴキブリ団子作り 手芸教室 陶芸教室 健康教室 等 ・奉仕活動 地区内の清掃 花壇の花植え お地蔵様の前掛け作り 等 ・研修 歴史講話 環境福祉課出前講座 中富記念くすり博物館見学 等 ・地区行事サポート ほんげんぎょう 資源回収 等</p>						
事業の 成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症の影響により各地区とも上半期はほとんど活動できない状況であったが、時期をみて推進員を中心に三密にならないよう対策を講じながら交流活動や研修会、奉仕活動等が行われた。コロナ禍で多くの地区行事が中止となる中、各推進員が工夫して無理のない範囲で出来る活動から取り組むことで、地区住民の親睦と連携の強化が図れたとして事業目標が達成できたと考える。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	町全域 57地区の内、43地区の設置であり、前年度から1地区の増となっている。					
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	放課後子ども教室事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	383	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				218			165
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>						
事業の実績等	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年5月から7月にかけて全校区で実施している前期子ども教室、及び夏休み子ども教室を中止した。</p> <p>○後期子ども教室は12月から2月にかけて各校区で3回ずつ実施した。指導者として地域住民の参画を得てスポーツ、英語、木工、囲碁・将棋、ハンドベル、昔遊びや体験活動等の教室を行った。</p>						
	放課後子ども教室名	土曜子ども教室 (後期)開催回数	参加者数	延べ参加者			
	中原風っ子元気スクール	3回	71人	190人			
	茂安っ子いきいきスクール	3回	29人	83人			
	三根わくわくスクール	3回	36人	97人			
計	9回	136人	370人				
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため後期のみの開催としたが、感染症対策を行いながら子ども達に安全で健やかな居場所を提供することができた。活動の中では高学年と低学年の児童の交流も図られ、日頃学校では体験できない様々な活動を通じて子ども達の健やかな育成の一助とすることができた。また、地域の方に指導者として参加していただくことで地域の大人との交流も深まり、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進することができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	生涯学習事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
				費目	公民館費			
事業費 (千円)	620	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							620	
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と高齢者の生きがいづくり						
	主要施策	生涯学習の環境づくり						
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進並びに高齢者の生きがいづくりを推進する。							
事業の実績等	各会場における公民館事業の実施状況							
	会場	事業の種類			回数	参加者数		
						男	女	計
	中原会場	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座、さおり織り教室			17回	30人	167人	197人
	北茂安会場	エコクラフトバッグ作り教室、テディベア教室、パソコン教室（ワード初級・中級）、スマホ（アンドロイド）体験教室			22回	45人	178人	223人
	三根会場	みやき塾（三根編）、生きがい講座			6回	20人	95人	115人
	計				45回	95人	440人	535人
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期や年度末の講座・教室の一部を中止した他、例年よりも各教室の規模を縮小して開催した。そのため、参加者数は例年よりも減少したが、感染対策を講じながら住民に対する生涯学習の情報提供や学びの環境づくりに努めた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	また、民間事業者と連携してICT利用機会の少ない高齢者を対象にスマホ体験教室を開催した。家でも操作練習ができるようにスマホの貸出を行い、基本操作から便利な機能・アプリの利活用法等を紹介するなど、高齢者のICT活用の支援を行い、教養を深める機会の提供と生きがいづくりの推進につなげた。						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	図書館事業			所管課	社会教育課	担当	図書館担当
				費目	図書館費		
事業費 (千円)	12,315	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						10,500	1,815
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習施設としての機能を果たす図書館づくり					
事業の内容等	子育てしやすい町にふさわしい児童図書の実と支援、健康長寿のまちとして町民個人の自立を支援するため、図書館と各校区図書室の資料の実と連携を目指す						
事業の実績等	○ 蔵書構成 (単位：点)						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	令和2年度末	60,904	30,025	1,673	3,013	95,615	
	内2年度受入分	(2,797)	(1,735)	(27)	(486)	(5,045)	
	○ 貸出実績						
		開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数		
	町立図書館	247日	18,732人	95,393点	386点		
	こすもす館	202日	1,572人	4,941点	24.5点		
	改善センタ	182日	507人	1,820点	10点		
	○ リクエスト、レファレンスサービス						
・ リクエスト 予約件数 2,533件 ※							
・ レファレンス 545件 (読書相談、調べものに対応)							
※貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び県内図書館より借受で対応							
○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止により、状況にあわせた図書館の利用制限が必要とされた一年であった。このような状況の中、新型コロナウイルス感染症対応創生臨時交付金にて、図書消毒機の購入・図書館資料を充実させた。常に情報が変化・変更される「医学系」「法律系」「情報系」資料の積極的な買い直しと、利用者さんの関心度が高い「小説」「趣味」「児童図書」など、外出自粛中に楽しめる資料を充実。							
○ 小学校の教科書改訂に伴い、授業で使用する調べ学習の資料の購入を行った。また小学校3年生から始まる英語授業に役立ててもらおうと「英語セット」を各小学校へ貸出し、学校への支援を行った。							
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染拡大防止により、外出の自粛等で図書館利用が控えられていたが、「おうち時間」を楽しむツールとして「本」の重要性を改めて実感した。新型コロナウイルスの流行の状況にあわせた図書館イベントを仕掛け、「児童図書の無制限貸出」にしたことで、多くのご家族連れの方の「外出自粛中のお出かけスポット」としての図書館利用が定着、貸出冊数も増加している。学校への支援、子育て世代・高齢者世代への支援を今後も続けていき、生涯学習施設としての役割を果たしていく。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	文化財保護事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	58,034	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			2,225	801		5,809	49,199
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業 ・ 確認調査の結果検出された重要な遺跡について、より詳細に内容を把握し、遺跡の記録保存を図るための本調査事業 ・ 県・町指定史跡の維持管理事業 ・ 文化財の啓発活動事業など 						
事業の実績等	<p>○令和2年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：104件 確認調査実績件数：53件(53件中、6件で遺跡を確認した。その他は設計変更等により遺跡が保存された。)</p> <p>○本調査実施（町単独・受託事業） 町道板部中津隈線工事に伴う板部城跡2区、宅地造成工事に伴う原古賀六本黒木遺跡3区の発掘調査を行った。また、平成30年、令和元年度実施の町内遺跡確認調査、大園遺跡2区、一の幡古墳群、姫方原遺跡H区の整理作業を実施し、報告書作成を行った。また、板部城跡1区は整理作業のみ行った。</p> <p>○県指定史跡4ヶ所、町指定史跡2ヶ所の維持管理業務を実施した。</p> <p>○歴史講座等の町民に向けた講座を開催し、文化財への啓発活動を行った。(全6回で、参加者総計172人)</p> <p>○町指定重要文化財として新たに指定された「高寺観音堂 誕生仏」の案内看板や中津隈前方後円墳の老朽化した看板を内容も新たに設置を行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発に伴う確認調査を実施することにより、埋蔵文化財保護と開発との調整を図ることができた。 ○ 本調査において、原古賀六本黒木遺跡からは古代の木製柱痕が当時のまま確認されるなど、みやき町の歴史を知るうえで重要な成果を上げることができた。 ○ 史跡維持管理事業では、除草作業を行い、景観美化に努めるとともに、見学者の利便性を高めることができた。 ○ 啓発活動の歴史講座については、コロナ禍で例年より参加者は減少したものの、郷土の文化財や佐賀県の歴史について理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。 					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	131	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							131
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	競技スポーツの振興					
事業の内容等	本町内に在住する者が九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図り社会体育の振興に寄与する。						
事業の実績等	<p>○ 全国大会 ハンドボール（富山県1人） 空手（長野県1人） 小計 2人（高校生以下2人） 40千円</p> <p>○ 九州大会 水泳（鹿児島13人） 小計 13人（大人1人、高校生以下12人） 91千円</p> <p>合計 のべ15人 131千円（前年度62人 746千円）</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>前年度と比較して人数で47人、金額で615千円の減少となっており、昨年と比べ新規申請者が少なかった。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により各種大会が中止となり、出場の機会が激減した。</p> <p>出場機会は少なかったが、補助金を交付することで出場者の負担軽減を図ることができたと考える。</p>					
	<p><input checked="" type="checkbox"/>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<p><input checked="" type="checkbox"/>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	町体育協会補助事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当																																
				費目	保健体育費																																		
事業費 (千円)	3,500	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																
							3,500																																
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興																																					
	主要施策	競技スポーツの振興																																					
事業の内容等	町体育協会に加盟する各種目団体(16 団体)が行う大会・講習会等、PR及び各種目団体が事業を行った場合の事業費の一部補助、また、県民スポーツ大会出場者の募集及び選手派遣費等の補助を行う。																																						
事業の実績等	<p>○ 専門部事業実施回数</p> <table border="0"> <tr> <td>・剣道部</td> <td>0 回</td> <td>・陸上部</td> <td>0 回</td> </tr> <tr> <td>・野球部</td> <td>0 回</td> <td>・卓球部</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>・バレーボール部</td> <td>2 回</td> <td>・ソフトボール部</td> <td>2 回</td> </tr> <tr> <td>・バドミントン部</td> <td>3 回</td> <td>・柔道部</td> <td>0 回</td> </tr> <tr> <td>・ゲートボール部</td> <td>7 回</td> <td>・グラウンドゴルフ部</td> <td>6 回</td> </tr> <tr> <td>・テニス部</td> <td>2 回</td> <td>・ゴルフ部</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>・相撲部</td> <td>0 回</td> <td>・サッカー部</td> <td>0 回</td> </tr> <tr> <td>・水泳部</td> <td>1 回</td> <td>・ボウリング部</td> <td>1 回</td> </tr> </table> <p>計 28 回</p> <p>○ 県民スポーツ大会実績 総合順位（コロナ禍の為、交流大会により順位付け無し）</p> <p>主な結果（町の部） 優勝 ゴルフ部 準優勝 ソフトボール壮年 B、陸上【砲丸投げ 女子】 3 位 野球 A、ソフトボール一般 A、ソフトボール女子、バドミントン女子</p>							・剣道部	0 回	・陸上部	0 回	・野球部	0 回	・卓球部	1 回	・バレーボール部	2 回	・ソフトボール部	2 回	・バドミントン部	3 回	・柔道部	0 回	・ゲートボール部	7 回	・グラウンドゴルフ部	6 回	・テニス部	2 回	・ゴルフ部	3 回	・相撲部	0 回	・サッカー部	0 回	・水泳部	1 回	・ボウリング部	1 回
・剣道部	0 回	・陸上部	0 回																																				
・野球部	0 回	・卓球部	1 回																																				
・バレーボール部	2 回	・ソフトボール部	2 回																																				
・バドミントン部	3 回	・柔道部	0 回																																				
・ゲートボール部	7 回	・グラウンドゴルフ部	6 回																																				
・テニス部	2 回	・ゴルフ部	3 回																																				
・相撲部	0 回	・サッカー部	0 回																																				
・水泳部	1 回	・ボウリング部	1 回																																				
事業の成果等	自己評価	会員数についてはここ数年 1,500 人を少し下回る人数で推移している。各専門部については、バレー部・卓球部及びバドミントン部がジュニア教室を開催するなど、競技人口の確保を目的とした若い世代の育成という努力をされている。																																					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	また、新型コロナウイルス感染拡大により、各専門部の事業実施回数が例年より減少した。県民スポーツ大会においては、コロナ禍により 7 競技が中止となり交流大会となり、ゴルフ競技が初優勝し、ソフトボール部、野球部、バドミントン部、陸上女子個人競技が上位に上がっている。																																					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																																					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																																					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																						

事業名	町民体育大会実行委員会 補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	<p>スポーツ・レクリエーションを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域スポーツの振興と明るく豊かな町づくりのため町民体育大会を開催する実行委員会に補助金を交付することにより大会経費の軽減を図る。</p>						
事業の実績等	<p>○ 中原校区町民体育大会 事業費 0 千円</p> <p>○ 北茂安校区町民体育大会 事業費 0 千円</p> <p>○ 三根校区町民体育大会 事業費 0 千円</p> <p>新型コロナウイルス感染症が拡大している状況であった為、事前に各地区分館長にアンケートをとり実行委員会でも協議を行ったが、町民の安全を優先する為に各校区の体育大会は中止となった。</p>						
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、事業を実施できなかった ので評価不能。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、事業を実施できなかった ので評価不能。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	各種スポーツ大会等開催事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
				費目	保健体育費		
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<p>○6～7月 分館対抗女子ミニバレーボール校区大会、町決勝大会 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○9月 ナイタースーパーキックベースボール大会 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○11月 登山教室 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○11月 クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○11月 分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>○3月 ニュースポーツ教室 ⇒<u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>例年は開催した大会・教室において、多くの方にスポーツに親しんでいただいている。 令和2年度については、年度当初より新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりスポーツ大会は中止せざるを得なかった。</p>						
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、事業を実施できなかったため評価不能。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、事業を実施できなかったため評価不能。					
年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会体育施設整備事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
				費目	保健体育費			
事業費 (千円)	283,536	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						30,000	253,536	
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興						
	主要施策	社会体育施設・設備の充実						
事業の内容等	北茂安体育館のLED化工事、三根運動場・中原公園多目的広場の砂入れ事業、B&G海洋センター改修事業を行い、体育施設の機能向上・維持を図った。							
事業の実績等	<p>○北茂安体育館照明LED化工事 事業費 5,693千円 工事内容 北茂安体育館照明のLED化工事</p> <p>○三根運動場、中原公園多目的広場整備委託 事業費 7,767千円 事業内容 三根運動場、中原公園多目的広場の砂入れ整備</p> <p>○B&G海洋センター改修事業（施工監理、工事） 事業費 270,076千円 事業内容 デジタルコミュニティセンター開館に伴うB&G海洋センターの改修事業</p>							
事業の成果等	自己評価	計画通りに完了した。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	総務管理費			
事業費 (千円)	77,483	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			77,483				
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	新型コロナウイルス感染症対策					
事業の内容等	小中学校で使用する新型コロナウイルス感染症対策消耗品としてマスク、消毒液等を購入。備品として加湿器、非接触式体温計、空気清浄機等を配置し、新型コロナウイルス感染症拡大時の休校対応として利用する学習用タブレット端末ソフトウェア購入、校内サーバー更新を実施した。また、保護者負担をなくすため、新型コロナウイルス感染症拡大による修学旅行のキャンセル料の補助金を創設した。						
事業の実績等	<p>○感染症対策消耗品購入事業：8,040千円 ・マスク 880千円・消毒液 1,730千円・フェイスシールド 474千円・医療用手袋 17千円・フッ化物洗口用コップ 240千円・和紙マスク 739千円・加湿器用液体 3,960千円</p> <p>○手作りマスク製作委託事業：6,000千円</p> <p>○義務教育施設情報通信機器更新事業：45,046千円 ・保守業務 1,089千円・機器リース 5,457千円・整備工事 38,500千円</p> <p>○モバイルルーター借上事業：487千円</p> <p>○感染症対策備品購入事業：17,028千円 ・非接触式体温計（100個） 528千円・サーキュレーター（88台）と大型扇風機（28台） 1,246千円・空気清浄機（90台） 4,783千円・加湿器（240台） 5,338千円・学習用タブレット端末ソフトウェア（620式） 1,773千円・タブレット端末充電保管庫（32台） 3,273千円・非接触型ゴミ箱 87千円</p> <p>○修学旅行キャンセル料補助事業：882千円</p>						
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症の拡大により、3月3日～5月13日まで小中学校を休校せざるを得ない状況となった。各学校との情報連携を密にしながら対応策を協議し、学校での感染症拡大やクラスターの発生防止対策の消耗品、備品を計画通りに購入し、活用ができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>中学校の泊付き修学旅行中止のキャンセル料の補助金については、保護者負担をなくすことができた。</p> <p>町内小中学校でのクラスターは発生せず、感染症対策の効果があつた。</p>					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育・ 社会体育担当
				費目	総務管理費		
事業費 (千円)	11,815	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			11,815				
基本 方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	新型コロナウイルス感染症対策					
事業の 内容等	社会教育施設内での新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るための消耗品、備品等の購入。 施設内の換気を充分に行うための網戸設置工事の実施。						
事業の 実績等	<p>社会教育施設内での新型コロナウイルス感染症対策として以下の事業を実施した。</p> <p>【社会教育担当 9,081千円】</p> <p>○アルコール除菌剤や手指消毒液、ハンドソープ、マスク等の消耗品購入 978千円</p> <p>○換気用網戸設置工事</p> <p style="padding-left: 40px;">コミュニティーセンター 1,287千円</p> <p style="padding-left: 40px;">働く婦人の家 660千円</p> <p style="padding-left: 40px;">農村環境改善センター 825千円</p> <p style="padding-left: 40px;">勤労青少年ホーム 737千円 合計 3,509千円</p> <p>○非接触式体温計、図書消毒機、個別机・イス等の備品購入 4,594千円</p> <p>【社会体育担当 2,734千円】</p> <p>○社会体育施設新型コロナウイルス対策消耗品購入</p> <p style="padding-left: 40px;">事業費 498千円 事業内容 手指用アルコール等購入</p> <p>○体育館（中原・北茂安・三根）換気網戸設置工事</p> <p style="padding-left: 40px;">事業費 1,804千円 事業内容 各校区体育館に換気用の網戸設置</p> <p>○社会体育施設用備品購入事業</p> <p style="padding-left: 40px;">事業費 432千円 事業内容 非接触式体温計・社会体育屋内施設送風機購入</p>						
事業の 成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染症対策の消耗品、備品購入については計画通りに購入し、施設内での活用ができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	各社会教育施設の網戸設置工事については施設の利用に支障が出ないよう調整のうえ、計画通りに実施できた。					
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						